



さくらんぼ高等保育園（立花町北山）

議会だより や め

No.151 平成28年2月1日

- P 2 **大淵体験交流施設条例を制定**
- P 6 **ここが聞きたい!** 一般質問 **14人** の議員が登壇
- P 14 **議会報告会を開催しました**
- P 16 **管内現地調査を実施しました**

大淵体験交流施設条例を審議

平成28年2月開館



12月定例会は12月2日から18日までの17日間の会期で開催されました。市長より提案された議案は、7億1261万円を追加する一般会計補正予算、旧大淵小校舎を活用した体験交流施設の設置条例案など議案21件で、いずれも原案どおり可決しました。

また、最終日に建設経済常任委員会よりTPP（環太平洋連携協定）に関する意見書案など2件が追加提案され、原案どおり可決しました。

八女市大淵体験交流施設 条例の制定について

問 使用料の設定根拠は。

答 使用料については、宿泊使用料、施設使用料、設備使用料になつてゐる。宿泊使用料については、近隣の宿泊施設の使用料を参考にしている。施設使用料については、八女市民会館研修棟の面積あたりの単価を参考にしている。設備使用料（コインランドリーの使用料）については、近隣の使用料を参考にしている。

問 宿泊使用料については、市内と市外で差をつけてあるが理由は。

また、施設使用料には差をつけなかった理由は。

答 交流施設ということもあり、市外の方も多く利用していただきたい

が、特に市内の方に利用していただきたいので、10%程安く設定している。施設については、市内、市外問わず利用していただきたいので統一している。

問 食事についての考え方は。

答 利用される方の要望に応じて、食事の提供や自分たちで作っていただくことも可能である。

矢部地区観光物産交流施設 指定管理者決まる

指定管理者 一般財団法人
秘境柚の里

指定期間 平成28年3月1日から
平成32年3月31日まで



べんがら村の指定管理者は

西洋フード・コンパスグループ株式会社

問 3団体より応募があったようだが1位と2位の点数の差はどのくらいだったのか。

答 1位の西洋フード・コンパスグループと次の団体については50点の差がついている。

指定期間は

平成28年4月から5か年



こども医療費無料化と国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティをやめることを求める意見書（要旨）

本市では厳しい財政状況ながら、子どもの医療費を入院については中学3年生まで無料とし、子育て支援に努力しています。

子育て家庭の経済的負担を軽減することは、少子化対策の重要施策と捉え、すべての都道府県で子ども医療費への補助を実施しています。しかし、国においては、何の措置も講じられていません。

また、現物給付を導入すれば、国からの国民健康保険財政調整交付金が削減されるペナルティがあり、本市においても年間3800万円程度が削減されています。なぜ国は、少子化対策に努力している自治体にペナルティを課すのか。少子化対策に相反することです。

以上のことから、本議会は下記の事項について強く要望するものです。

記

- 1 こども医療費の無料化をすること。
- 2 国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティを廃止すること。

TPP(環太平洋連携協定)に関する意見書(要旨)

TPPが国民生活の根本にかかわる重大問題であることを踏まえ、下記事項を実現するよう強く求める。

記

- 1 「大筋合意」の内容の全ての分野の公表を行い、地方経済や地域農業に与える影響試算など早急な情報提供を行うこと。
- 2 合意内容が、農林水産分野の重要5品目（米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源）の確保を最優先した国会決議が順守されたもので、国益にかなった結果となっているか国会で十分な審議を行うこと。
- 3 生産者が農業経営を継続できるよう、現場の声を踏まえた農業への必要な対策と予算の確保を行うとともに、長期的な農業政策の確立を行うこと。

本会議において可決された2件の意見書は関係行政庁に送付しました。

厚生

審査の主なもの

○平成27年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)

- ・社会福祉費 1億7176万円
- ・児童福祉費 7614万円
- ・生活保護総務費 480万円

※社会福祉費は、国民健康保険事業費特別会計繰出金1億4523万円が含まれる

委員会審査

総務文教

審査の主なもの

○平成27年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)

- ・総務費 200万円(公共灯設置補助金)
- ・教育費 196万円(八女文化会館改修費)
- ・教育費 3000万円(桜公園運動広場トイレ新築工事費)

○八女市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について (賛成多数で可決)

○八女市大淵体験交流施設条例の制定について(全員賛成で可決)

○八女市田崎廣助美術館条例の制定について (全員賛成で可決)

生まれ変わる大淵小学校

八女市大淵体験交流施設条例の制定について

問 宿泊使用料にも減免基準を設けるべきではないか。

答 宿泊の場合にかかる諸経費と施設の運営面を考えた結果、ある程度の負担をお願いしたい。

問 職員数は、施設長1名、地域おこし協力隊2名、食の提供を密にしていきたい。

答 供を主とした職員1名の4名体制で、職種は協議中である。

問 スポーツ及びレクリエーション活動の拠点施設としてサッカー場とのつながりはどう考えているのか。

答 スポーツ振興課及び商工観光課を含めて連携を密にしていきたい。

問 食の責任者、火元責任者はどうなっているのか。



学童保育所待機児童解消へ改修工事

問 学童保育所改修工事の内容はどのようなものか、また、それにより待機児童は解消できるのか。

答 福島小学校区と三河小学校区の学童保育所に待機児童が出たため、隣接の空き教室を学童保育所として利用できるよう改修工事を行う。収納棚の取付け、電気設備、ガス配管・給排水工事、エアコン取付け等の整備を

行い、来年度から受け入れを拡大する。改修工事により待機児童は解消する見込みである。

問 地域密着型施設等整備事業の具体的な内容は。

答 黒木町木屋の通所介護事業を行っている施設「デイサービス里心」を、

問 重度障害者医療対策費、乳幼児・こども医療対策費、ひとり親家庭等医療対策費それぞれが増えている原因は。

答 上半期の前年度比でも、重度しよつがい者が約5%、乳幼児・こどもが9%、ひとり親家庭等が7%と医療対策費が増えている。原因は分かっ

学童保育



議会の動き

11月

- 2日 定例全員協議会
- 11日 厚生常任委員会
- 12日 議会報告会(福島・三河・八幡・岡山)
議会報告会(黒木)
県南広域水道企業団議会
- 17日 八女中部衛生施設事務組合議会
筑後六市議会議長研修(岩国市)
議会報告会(立花)
- 19日 議会報告会(矢部)
- 20日 総務文教常任委員会
議会報告会(上陽)
- 21日 議会報告会(長峰・上妻・川崎・忠見)
議会報告会(星野)
- 25日 町村議会広報研修会
- 26日 建設経済常任委員会
- 27日 議会運営委員会

12月

- 2日 平成27年第5回定例会(招集日)
全員協議会
- 8日 一般質問(～10日)
- 10日 議案審議
予算審査特別委員会全体会
議会だより編集委員会
- 14日 委員会・分科会
- 17日 予算審査特別委員会全体会
下水道調査特別委員会
- 18日 平成27年第5回定例会(最終日)
議員定数等調査特別委員会
- 25日 公立八女総合病院企業団議会
八女西部広域事務組合議会
- 28日 八女市消防団年末夜警巡視
(総務文教常任委員会)

1月

- 4日 全員協議会
- 6日 議会だより編集委員会
- 12日 厚生常任委員会
- 14日 議会だより編集委員会
- 20日 総務文教常任委員会

建設経済

審査の主なもの

○平成27年度一般会計補正予算

(全員賛成で可決)

・商工費 57万円

○TPP(環太平洋連携協定)に関する請願(継続審査)

※本会議で再付託され、採択

新たに防犯カメラを設置、土橋商店街

問 防犯カメラは今回何基つのか。また、現在の設置状況はどうなっているのか。

答 今回8基を土橋商店街に設置予定。現在の設置は、大正町が8台清水町が3台、日の出町が7台である。

問 今後、防犯カメラの設置について他に予定はあるのか。

答 商工会議所によれば、紺屋町あたりが検討をされているとのこと。



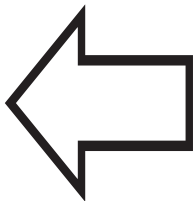
防犯カメラ設置予定の土橋商店街



一般質問

月 日	質 問 者	質 問 事 項
12月7日 (月)	樋口 良夫	1 八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
	松崎 辰義	1 東部活性化事業について
		2 介護保険制度について
		3 環境問題について
	角田 恵一	1 八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
	服部 良一	1 学校統廃合による閉校跡再活用について
		2 防犯カメラの設置について
		3 第4次総合計画後期基本計画について
12月8日 (火)	樋口安癸次	1 新庄交差点について
		2 宮野地区道路改良について
		3 酒井田地区道路改良について
		4 県道玉名八女線について
	石橋 義博	1 市内小中公立学校の雑草駆除について
		2 経済対策においてのふるさと納税等の重要性について
	高橋 信広	1 職員のモチベーション向上について
		2 「まちづくり」における組織について
		3 アンテナショップ「八女本舗」について
	井本 政弘	1 ふるさと支援寄附金について
		2 認知症について
		3 乗合タクシーについて
12月9日 (水)	三角 真弓	1 社会教育について
		2 予防接種について
		3 高齢者タクシー利用料金助成事業について
	森 茂生	1 公契約条例について
		2 建退共について
		3 非正規職員について
	牛島 孝之	1 八女市の学校教育に対する今後の方針、八女市が考える いじめの定義は。また貧困家庭に対する考えは
		2 母子生活支援施設ひまわり園の今後について八女市の考えは
		3 おりなす八女の駐車場問題と八女市の庁舎の関係について、また八女文化会館の改修について
	小川 栄一	1 民間との協働について
		2 学生・生徒への支援について
12月10日 (木)	中島 信二	1 地域一体の教育で地方創生
		2 文化財の保存、活用について
	萩尾 洋	1 産業廃棄物及び環境保全について

《一般質問の詳しい内容》



創生総合戦略の人口減少対策で、結婚実現への支援とある。具体策は

答 結婚対策の強化は不可欠で、地域の婚活を支援する



樋口良夫

- 問** 行政で行なっている結婚サポートセンターでの26年度の八女市民が結婚した実績は。
- 答** 5組6人が結婚に結びついた。
- 問** 黒木町市民有志で、「山婚」と命名し9月と11月に婚活を行ない、参加者が多く大好評であった。今後、行政主導でなく市民の立ち上げによる婚活事業を、行政は積極的に支援する必要があるかと考えるが。
- 答** 市民と協働のまじり合いの提案事業しかないが、今後は取り組み状況の中で支援を考えていく。
- 問** 農林業の新規就業者は新規就業者に対し年間150万円の支援があるが、研修期間も含めて受給する事は可能か。
- 答** 準備型2年間と経営型5年間で、最大7年間受給が可能である。
- 問** 山林作業は危険と隣りあわせである。森林の担い手支援として、林業研修施設を早急に本市に設立すべきと考えるが。
- 答** 県議会の農林水産委員会に、県営の新規林業就業者施設設置を申し入れている。



- 問** 黒木大淵地区の体験交流施設はいつオープンするのか。
- 答** グランドオープンを3月に予定している。
- 問** 地域の協力体制と来ていただくためのPRはどのようにしているか。
- 問** 宿泊の時の食事の提供



矢部地区観光物産交流施設



松崎辰義

答 矢部の活性化は、観光だけでなく、グリーンツーリズムを中心に考えるべき

答 今からの取り組みの中で、地元の方々と十分議論する

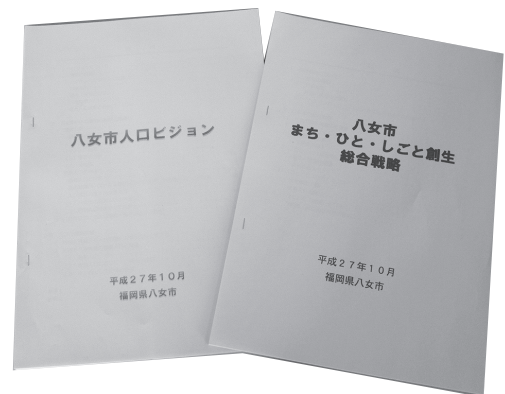
- 供はどうなっているか。
- 答** 地域にお願いをしている段階である。
- 問** 介護保険の減免について
- 問** 減免の対象者は八女市においては、おおむね7233人で全体の33・8%になる。しかし、実質対象になるのはそんなに多い数ではないと思う。今までに減免の拡充の検討をされたことがあるか。また、今後検討するつもりがあるのか。
- 答** 八女市の保険料は県下でも高い方ではない。最も安いといつことではないが、高くない。
- 高齢者にとっては極めて重要な施策であるので、あらゆる角度から検討しなければならぬ。

まち・ひと・しごと創生総合戦略を 成功させるための市長の決意は

答 先頭に立ち、成功に向け、積極的に進めていく



角 田 恵 一



問 第四次八女市総合計画における将来人口の見直しが必要なのは、直しが必要なのでは。

答 今回の人口ビジョンで示しているとおり、実態に合わせ平成32年の目標数値を見直したい。

問 既存の各計画書との調整をどのような形で行うのか。

答 各種計画は、八女市総合計画に基づき策定されている。今回の総合戦略については、総合計画から、まち・ひと・しごとの観点から事業として挙げられるものを計画している。来年度予算編成は総

合戦略を踏まえたものにするべきでは。

答 財源充当が優位にできる事業を事前に調べ、各課と十分協議しながら対応していく。

問 市長の任期は28年11月15日までだが、地方創生計画期間の平成32年までをどう考えるのか。

答 次の世代にどういう八女市を譲り渡して行くのか、その土台、基盤づくりをすることが大事である。平成28年11月の市長選に出馬をし、さまざまな課題に取り組んでいきたい。

問 公有財産活用検討委員会では、木屋小学校跡地についてどのような検討をしているのか。

答 木屋地区の方々の声は雇用の拡大が多かった。検討委員会が審議し、さらに三役と担当部局と協議をつづける。



木屋小学校

問 財産が多様なため、その中でもプロジェクトチームを設置し、より多くの考え方で望むべきでは。

答 2月と11月に東京で八女市独自の、シティプロモーションを行い、さまざまな内容であるが、企業へ

防犯カメラの設置について平成26年度商店街に16台、学校に12台設置されたが、その後の計画は、警察署、教育委員会の考え方も含め検討する。

問 警察のデータの刑法犯数は、近隣と比べて多く、県も必要性を訴えている。八女市は防犯カメラを強化しているという抑止力も必要と思うが。

答 刑法犯が八女市で多いということは非常に残念なこと、防犯カメラについては今後よく検討していく。



服 部 良 一

木屋小学校閉校跡
再利用を早急に

答 企業誘致を視野に、検討を行っている

酒井田町内の市道43号線を6メートルに改良すべきだと思うが

答 現在、三河56号線に着手しており、完了後に考える



樋口 安葵次

問 新庄交差点改良の進捗状況は。

答 環状交差点として計画が進められており、今後は物件調査などを行い、早期着手に向け取り組みよう要望活動に努める。

問 宮野町内の市道三河27号線と30号線の道路改良はどうなっているか。

答 現在、三河27号線道路改良は、既に進めており、用地測量、物件調査を行う



市道三河43号線

ている。また、三河30号線についても、引き続き地元行政区、関係機関と調整を行いながら進めていく。

問 県道玉名八女線の矢部谷峠トンネル整備に向けての推進看板設置はどうなっているのか。

答 本年度、福岡、熊本両県の理解が得られたので、平成28年度中の設置を予定している。

問 市内小中公立学校の雑草駆除について

答 人的作業だけでは対応できない学校が8割程度あり、休日等の前日に除草剤散布を行い、散布区域に侵入できないような

対策を講じたい。除草剤の使用については、慎重に検討していきたい。

「ふるさと支援寄附金」の実績額

平成27年度(平成27年4月1日～平成27年12月末現在)

種 別	件数	金額(円)
地場産品発掘・ブランド化事業	1,881	23,472,001
未来を担う子どもの教育及び少子化対策事業	5,039	62,541,827
観光振興・交流事業	765	9,866,500
環境保全事業	1,457	17,822,000
その他市長が必要と認める特定の事業	3,300	42,533,011
計	12,442	156,235,339



石橋 義博

答 経済対策における、ふるさと納税の重要性について

地方自治体の歳入確保に非常に有効である

問 経済対策においてのふるさと納税の重要性について

答 ふるさと納税は地方自治体において歳入確保に非常に有効であり、地方を活性化するうえで重要な制度である。また、今まで知ってもらえなかった魅力的な特産品や観光資源などを全国の方々に知っていただき、魅力を伝えることができるなど、地域活性化を図る一つの手段となっている。今後も引き続き制度の周知を行うとともに、お礼の品の充実を図ることにより、八女のファンを増やしていきたい。

「八女本舗」は日曜日を利用して 観光PR・観光誘客を行ってはどうか

答 そのためにはスペースが必要で、将来は場所を変えることもある



高橋 信 広



福岡市天神にあるアンテナショップ「八女本舗」

問 アンテナショップ「八女本舗」について
答 経営母体、運営方法はどのようになっているのか。
問 八女本舗運営協議会と契約を結び、運営を依頼している。生産者代表12名、上陽町保健センターにある事務局2名で構成し活動している。委託料は0円だが、八女市はテナント料として年間約1700万円を拠出している。
問 八女市の観光拠点としての位置づけから、月1回もしくは年4回の日曜日に、観光PR、イベント誘客を企画したらどうか。

答 観光PRを店の前で行うことは規制があり出来ない。店内で行うことは販売との兼ね合いを考え、十分検討したい。
問 八女市民の認知度が低いと思う。ホームページや広報誌での案内を行い、チラシ等の販促物を作成したらどうか。
答 開設当時は、職員全員に各10枚の案内状を出させた経緯もあるが、今後色々なアイデアを考えて進める。
「まちづくり」における組織について
問 まちづくり協議会の役割やあり方について、理解してもらうためには、市長をはじめ幹部の訴えが重要と思うが、総会などで発信してはどうか。
答 今までは諸事情で市民に対して、まちづくり協議会への理解を求めたり、様々な要望や意見を聞くことができていなかったが、市民の意見を聞ける場を含め十分検討する。

問 ふるさと納税（ふるさと支援寄附）制度は、地域の産業（農業・商業・観光）の振興に大いに貢献できる大きなチャンスと考える。今後より一層の積極的な取り組みが必要ではないか。

八女市ふるさと支援寄附金



八女市は、矢部川を中心とした風光明媚な自然と豊かな大地、緑豊かな森林に恵まれ、八女丘陵地の古墳群、伝統的町並み、多様な伝統工芸品、豊かな農林産物、多種多様な伝統・文化を育んできました。これらの財産を後世まで引き継ぐとともに、八女市への共感やふるさとへの想いを持つ人々から、地域づくり及び人づくりを支援していただきたく、寄附金による基金を設置しています。

答 この制度が広く周知され、また制度の拡充等により前年度を上回る寄附金をいただいている。一律3千円程度のお礼の品だけでなく、寄附金額に応じた、高価な特産品等も考えてみたい。



井 本 政 弘

ふるさと納税制度を活かし、
地域産業の活性化を図る
べきでは

答 お礼の品の充実を図り、産業の振興につなげていきたい

また今後、お礼の品等の充実にあたっては、庁内各課の連携を図りながら、地域産業の振興につながるよう検討していきたい。
認知症予防について
問 一人でも多くの市民に認知症サポーターになっていただきたいが、行政の取り組みは。
答 現在までに3656人の市民にサポーター養成講座を受けていただいた。今後更に充実強化に取り組んでいきたい。
乗合タクシーの充実を
問 乗合タクシーの利用拡大のための取り組みは。
答 地域公共交通網形成計画を策定し、市民生活の安定向上や地域の活性化を図っていききたい。

子どもの人権を守り活力ある社会を構築するための社会教育の役割とは

答 市と家庭と地域と学校が連携した社会教育活動が必要



三角 真弓



問 教育基本法の第一条の中に「人格の形成を目指す：心身ともに健康な国民の育成を期して」とあるが、社会教育・学校教育・家庭教育の関係は、きではないか。

答 十分努力をしていく。高齢者タクシー利用料金の助成事業について

問 高齢者等の運転免許証の返納に対するサポート事業として、また介護認定を受けずに自立した生活を維持されている方々への支援として、タクシー券の補助を考えては。

答 生活支援サービスの体制整備の中で検討する。

問 本市における医療費抑制のために予防接種の



森 茂生

臨時職員		
区分	日額（円）	時給（円）
一般事務	6,300	813
保育士	7,000	904
保健師	8,300	1,071

嘱託職員		
区分	月額（円）	時給（円）
一般事務	158,100	1,047
保育士	175,600	1,162
保健師	250,000	1,655

正規職員平均給与（年額）	
平成26	609万円
平成25	586万円
平成24	631万円

正規職員、嘱託職員等の人件費を性質別に表すと

答 正規職員は人件費、嘱託・臨時職員は物件費

が626人、現在は576人で50人の減、しかし「再任用、嘱託、臨時」等の非正規職員が110人増えている。正規から非正規職員に移行し、全体の職員数は60人増えているのが現状である。

嘱託の保育士の給与は年220万円程度、正規職員の平均給与は約600万円、正規職員は退職金があるので、嘱託は同じ仕事しても3分の1以下である。非正規の低賃金が大きな問題になっているが。

答 現在までの経過や要因があり、賃金の差はあるが単純比較だけでは当てでない。

建設業退職金共済制度について

問 公共工事の場合、掛金は設計単価に算入されているため、労働者の負担はない。請負業者も新たな負担は発生しない。労働者の共済手帳に証拠が確実に貼付されれば、

20年で270万円の退職金が支給される。工事現場において加入している旨の表示が義務付けられている。確認したのか。

答 100%ではない、まだ指導の過程である。

問 非正規職員について 平成23年度正規職員

母子生活支援施設、ひまわり園の今後について八女市の考えは



牛 島 孝 之

答

この施設は本来は県がやるべき事業ではないかと思う

母子生活支援施設とは

児童福祉法第 38 条に基づいた施設で、子どもの健全育成と母親の生活の自立を目指して支援する施設です。

〈児童福祉法第 38 条〉

母子生活支援施設は、配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、これらの者の自立の促進のためにその生活を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設とする。

問 老朽化している施設に対する考えは。

答 ひまわり園のあり方検討委員会の答申を待つて検討したい。

問 学校教育に対する考えは

答 日本語教育の必要性についての考えは。

問 日本語教育の必要性

答 日本語教育の必要性については、八女市教育委員会としても大変必要なことであると認識している。

問 ありなす八女の駐車場問題と市庁舎の関係について、また八女文化会館の改修について

答 新庁舎についての勉強会を立ち上げる考えは

問 新庁舎についての勉強会を立ち上げる考えは

答 現時点では全くその考えはない。

問 文化会館のステージはどのようなものか。

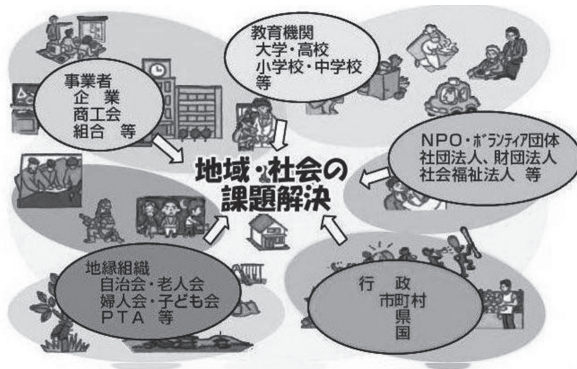
答 簡易組立式というところで 60センチに平台等を上乘せして、高さの調整はできると考えている。

問 照明関係についてはどのように考えているのか。

答 ステージ上の照明はそのまま使用し、サイドの照明については、移動式で舞台スタッフとの協議の中で対応していきたいと考えている。



小 川 栄 一



近隣市町村が民間との連携協定を進めているが、本市の状況は

答

ソフトバンクと、筑後7国で地域連携協定をしている

て、提案できないのか。

答 やる気がないところ行政が制度をつくるのではなく、団体・グループ

がぜひ制度をつくり支援してほしいという意気込みを

みせてくれることが重要

と思っている。

奨学金の拡充について

問 医学部希望の学生に、将来公立病院で働いたら返還不要の奨学金は出せないか。定住化にも結びつくと思うが。

答 確かに医者不足は地方自治体にとり深刻な問題ではあるが、条件付きの奨学金は非常に難しい。

問 行政が先導し、まちづくりのビジョンを示し

は、進んでいるのか。

答 3、4年前にJA、商工会議所と懇談して、農

問題があるのではないかと

地域、家庭の力を学校運営に生かす コミュニティスクールの導入を

答 先進事例を参考に制度導入に向けて取り組んでいきたい



中 島 信 二



岩戸山歴史文化交流館「いわいの郷」

問 制度導入となれば、その内容は。

答 平成28年度中に中学校1校ずつ試行的に導入したい。

問 教育委員会として導入による目標としては、どんな点があげられるか。

答 子どもの問題は地域の問題として捉えて解決していく。学校教育の質の向上につながる。また、家庭や地域の教育力も向上する。

問 文化財の保存、活用、並びに周辺整備について

問 岩戸山歴史文化交流館の開館時間は夜間の利用は出来ないのか。

答 文化財の保存、活用、並びに周辺整備について、岩戸山歴史文化交流館の開館時間は夜間の利用は出来ないのか。

答 特に必要と認める時は開館時間の変更ができる。

問 施設は立派だが古墳公園にある旧態依然のトイレの新築はできないのか。

答 事業計画になかった背景もあるが、状況を把握して考えていく。

問 観光事業の利用であるが今後は外国人観光客もターゲットに思わなくて、その一つとして免税店の設立は考えられないか。

答 免税店の認可は緩和されたが、まだまだ色々な条件があり難しい。研究していきたい。

問 依然として基準値以下でも時々悪臭がすると



萩 尾 洋



よりいコンポスト（埼玉県寄居町）

問 悪臭問題は十数年来の懸案事項であるが、今後の方針は。

答 引き続き施設の状況や周辺地域での調査を継続的に行いつつ、県や地元団体とも連携しながら、悪臭防止対策に取り組んでいく。

問 依然として基準値以下でも時々悪臭がすると

答 依然として基準値以下でも時々悪臭がすると

産業廃棄物処理及び環境保全に対する市の考えは

答

公害防止対策等、積極的取り組み、美しく住みよい環境づくりに努力していく

はどのような対応策を考えているのか。

答 許可権限者である県に対し、設置者への法令遵守はもとより、公害防止の徹底や生活環境の保全を図るよう強く要請し、市民生活に支障を来さないよう取り組む。

問 産廃・悪臭を放つ企業の一極集中方式は考えられないのか。

答 住宅地等から一定の距離があり、企業活動に適当な土地や用排水の確保が不可欠である。本市において条件に見合う候補地を選定するのは極めて難しい。

問 新たな産廃企業が進出しようとした場合、市

答 新たな産廃企業が進出しようとした場合、市

市政に生かします ございました

平成22年度から年1回行っている議会報告会も今年が6回目となりました。今回は7会場での実施となりましたが、多くの市民の皆様に参加いただきました。
いただいたご意見・要望などについては、議会内で議論するもの、執行部につないでいくものに整理し、今後行政区長会、議会ホームページなどでお知らせします。
今回はたくさんのご意見・要望等の中から一部を掲載しています。

問 防犯カメラの設置台数は。

答 福島小4台、長峰小4台、福島中4台は市から設置。商店街設置の16台については各団体が設置。

問 空き家対策はどうなっているのか。

答 平成26年9月に空き家対策条例が制定された。使用可能な家屋は空き家バンクに登録してもらい、再利用を行っている。



問 医療費を下げるため、ジェネリック医薬品の使用を医師会、病院へ強く要望してほしい。

答 ジェネリック医薬品を本人から申し出ることが大切である。重複受診ではなく主治医を決めて受診してほしい。

問 敬老会について合併前は校区単位でやっていた。現在市から敬老費として一人あたり400円いただいているが、倍額に増やしてほしい。

答 各地区それぞれのやり方で開催されている。敬老費については要望していく。



第6回 議会報告会 開催しました

みなさんの声を ご参加ありがとうございました

問 子どもや高齢者の防犯のために外灯の設置をしていただきたい。

答 外灯は補助金もあるので、行政区で取りまとめて区長から市へ要望されたい。電気代などの維持費は地域管理となるので考慮してほしい。

問 毎年700人程度人口が減少している。企業誘致など議会として考えるなら教えてほしい。

答 企業誘致は農地法の改正により土地の先行取得ができないなど厳しい状況にあり、現状では進んでいないのが実状である。人口減少の原因は、いろいろな要因があり防止することは大変難しいが、議会としても考えていきたい。



問 有害鳥獣の駆除対策をお願いする。

答 駆除員の減少やワイヤーメッシュでの防止にも限界があり、新たな解決策を考える必要性を感じている。地域でも箱フナ等を考えていただきたい。

問 道路愛護に対して補助金が出るが、分配の割合が難しい。補助の仕方を考えてほしい。

答 河川清掃や道路愛護等その範囲や労力を市が把握していないのが現状である。

地区名		参加者数
旧八女東部	長峰	48
	上妻	
	川崎	
	忠見	
旧八女西部	福島	72
	三河	
	八幡	
	岡山	
黒木	黒木	62
	豊岡	
	串毛	
	木屋	
	笠原	
立花	淵友	60
	大光	
	迎春	
	北山	
上陽	白木	17
上陽	上陽	17
矢部	矢部	29
星野	星野	26
合計		314

移住定住促進は事務事業の 一体化と窓口のワンストップ化

〈総務文教常任委員会研修報告〉

長野県伊那市

長野県のほぼ中央に位置し、人口6万9千人強、面積は667平方キロメートルである。

○伊那市移住・定住促進プログラム

地方創生に先駆け平成25年10月に策定し、全庁一丸となって既存事業を見直

し、新規重点プロジェクトを7つ選定。地域おこし協力隊や、集落支援委員を活用して移住者及び受入地域の支援を行っている。

○新山地区田舎暮らしモデル地域事業

移住者の受入体制を整

備し、暮らしの相談や生活のサポート等の住民支援を実施している。

○新山小学校小規模特認校

通学区域を自由化し、市内在住の児童生徒が自由に入学を申し込める制度。小規模校ならではの、きめ細かな学習を実施している。



八女市にどう生かす

伊那市では、移住定住促進に関して事務事業の一体化と相談窓口のワンストップ化を図るため、人口増進室を設置し、職員4人（集落支援員一人を含む）を配置して事業を展開していた。本市においても、最重要課題として同様の取り組みを実施する必要がある。

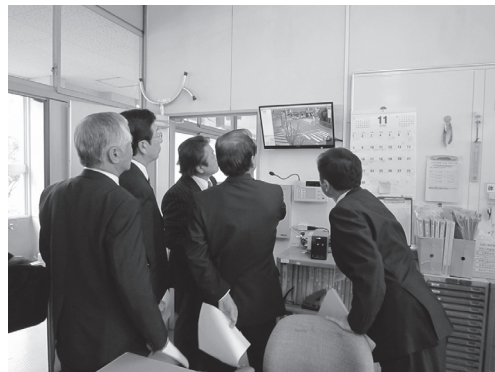
子どもの安全安心

小学校統合による効果と課題は

〈総務文教常任委員会現地調査〉

福島小の防犯カメラの設置状況を視察した。最近全国的にも非常に子どもが犯罪に巻き込まれる事件が多発しており、学校でも防犯カメラを推進する必要があるという事で現在、福島中、福島小、長峰小の三校に各校4台ずつ計12台を試験的に学校周辺の

通学路を中心に敷地内から外に向けて設置されている。抑止力もあり設置後は子どもに対する事案というのは発生していないとのことである。今後は、予算の問題もあるが、協議しながら増やしていく方向である。次に小学校統合による効果と今後の課題について



調査を終えて

今回訪問した福島小の防犯カメラの効果は予想以上と感じた。今後は是非とも、市内全校に設置努力をしなければならないと思う。黒木小の統合による効果と課題であるが、特に登下校に利用するスクールバスの運用には大変苦労があるようで、議会としても最善の協力をしたいと思う。

国民健康保険事業 健全化に向けた取り組みを学ぶ

兵庫県芦屋市 広島県呉市

＜厚生常任委員会研修報告＞



芦屋市では、保険料収
納率向上対策として、平
成22年度に派遣職員を2
名配置、23年度から業務
の一部を民間に委託し、
電話・訪問催告の早期着
手と土日夜間実施してい
る。滞納者に対する徹底
した財産調査と滞納処分
等で、24年度には収納率
93・10%となり、黒字に
転じた。

呉市では、生活習慣病
予防を柱とした保健事業
の推進で、健康寿命延伸
への取り組みを行っている。
レセプトのデータ
ベース化により重複、頻
回受診者、生活習慣病放
置者、特定健診未受診者
を抽出し、適正受診に向
けた訪問指導を行い、重
症化を予防する。これに
より平成25年3月には糖
尿病性腎症者から人工透
析移行者が0名になっ
た。また、同じ薬の処方
が一ヶ月に複数ある重複
薬服用者訪問指導によ
り、236万円の医薬品
代の削減効果があった。

尾道市では、公立病院
や医師会が中心となり保
健・医療・介護・福祉が
連携し、国に先駆けて構
築されている。特に医療
と介護の連携は、先進的
な取り組みとして全国か
ら注目を集めている。

また、ケアカンファレ
ンス（サービス担当者会
議）は、本人や家族、医
師、看護師、保健や福祉
の専門職、サービス提供
事業者、さらに民生委員
児童委員や住民ボラン
ティアが参加し、多職種
協働による利用者本位の
長期的支援システムがと
られている。

住み慣れた地域で暮らす 取り組みを「尾道方式」に学ぶ

広島県尾道市



八女市にどう生かす

国民健康保険事業も、地域包括ケアシステム
も、国の制度を地方自治体が運営するシステムの
ため問題は共通している。成功例を参考にする
のも、先進地に学んで構築していくのも、自治体
のやる気と頑張りによる成否がかかっている。他
の自治体にならうことを臆せず、さらに独自のや
り方を加えて、住みよい八女市づくりにまい進し
ていきたい。

12月定例会で審議した議案の賛否

【○は賛成・●は反対・―は議長職のため採決には加わりません】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	大坪久美子	橋本正敏	田中栄一	堤康幸	高橋信広	小川栄一	石橋義博	伊井渡	牛島孝之	萩尾洋	角田恵一	服部良一	中島信二	吉田達志	寺尾高良	栗原吉平	樋口良夫	三角真弓	井本政弘	中島富定	森茂生	栗山徹雄	井上賢治	松崎辰義	樋口安次	川口誠二
報告第20号	報告事項のため、採決はありません																									
報告第21号																										
報告第22号																										
議案第91号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第92号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第93号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第94号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第95号	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	―
議案第96号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
議案第97号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
議案第98号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第99号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第100号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第101号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第102号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第103号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第104号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
議案第105号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第106号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第107号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第108号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第109号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第110号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
議案第111号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	―
請願第3号(継続審査)	●	○	●	○	●	○	○	●	●	●	○	○	●	○	○	○	●	●	●	○	●	○	●	●	●	―
動議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	―
請願第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
委員会提出議案第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
議員提出議案第1号	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	○	―

※除斥とは、議案の関係者にあたるため議事に参加しないこと

12月定例会で審議した議案の結果

報告第 20号	専決処分について(事故による損害賠償)	報告
報告第 21号	専決処分について(事故による損害賠償)	報告
報告第 22号	専決処分について(事故による損害賠償)	報告
議案第 91号	八女市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 92号	八女市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 93号	八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 94号	八女文化会館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 95号	八女市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	可決
議案第 96号	八女市大淵体験交流施設条例の制定について	可決
議案第 97号	八女市田崎廣助美術館条例の制定について	可決
議案第 98号	指定管理者の指定について(八女市地域福祉センター)	可決
議案第 99号	指定管理者の指定について(八女市健康増進施設)	可決
議案第100号	指定管理者の指定について(八女市上陽製茶技術研修工場)	可決
議案第101号	指定管理者の指定について(八女伝統工芸館ほか3施設)	可決
議案第102号	指定管理者の指定について(八女市矢部地区観光物産交流施設)	可決
議案第103号	指定管理者の指定について(八女市下横山コミュニティセンター)	可決
議案第104号	平成27年度八女市一般会計補正予算(第3号)	可決
議案第105号	平成27年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第106号	平成27年度八女市簡易水道事業費特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第107号	平成27年度八女市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第108号	平成27年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第109号	平成27年度八女市矢部診療所特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第110号	平成27年度八女市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第111号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
花宗用水組合議会議員の選挙	《山本 茂登 馬場 護 丸林 尚由》 《田中 吉明 今里 光昭 梶 勇人》 《角 秀次 牛嶋 一磨 国武 俊克》 《田中 義弘 樋口 利忠 田中 元治》	当選(指名推選)
請願第 3号	TPP(環太平洋連携協定)に関する請願(継続審査)	否決
動議	TPP(環太平洋連携協定)に関する請願の再付託について	可決
請願第 3号	TPP(環太平洋連携協定)に関する請願	採択
委員会提出議案第6号	TPP(環太平洋連携協定)に関する意見書	可決
議員提出議案第1号	こども医療費無料化と国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティをやめることを求める意見書	可決

インターネットで議会中継

八女市議会

検索

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後3日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。会議名や議員名、用語でも検索できますので、ぜひご覧ください。

http://www.city.yame.fukuoka.jp/gikai/gikai_top.html

議会を傍聴してみませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約はいりません。

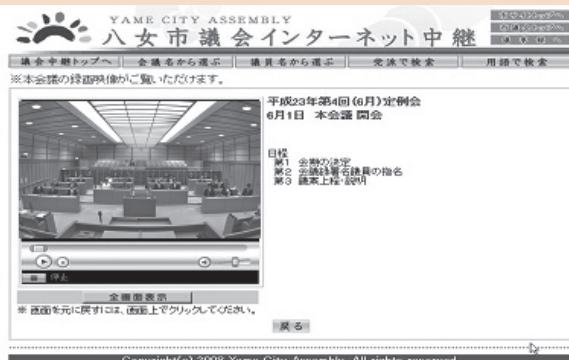
どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame_city_gikai@city.yame.lg.jp



議会を傍聴されたみなさんの声を一部ご紹介します。

(原文のまま記載)

○初めて傍聴しました。きっかけは先日開催された議会報告会です。やはり、市民として自分自身が行政に興味を持つことが重要であると感じた次第です。

(50歳代・男性)

○傍聴に参加できよかったと思いました。特に社会教育の質問等、答弁に自分もしっかり考えさせられました。(70歳代・女性)

○職員の非正規率が八女市38%にはびっくり。国は労働者の正規化を指導しているが八女市も率先して正規化を進めてください(市民が安心して生活できるためにも)(60歳代・男性)

○今後も機会があれば傍聴したい。(60歳代・女性)

次回定例会

2月24日(水) 予定

午前10時～立花庁舎議場

なんて日本人は素晴らしいのか、これで日本の未来は大丈夫と思う反面、景気は良くならず毎日のように起る詐欺、殺人、非正規社員率4割、結婚できない多くの方を想います。高度成長、一億皆中流、終身雇用制度が当然であった昭和の良き時代を生きた者にとって心配です。

編集後記

世界最高権威のノーベル賞を、IPS細胞を作製した山中教授が、ニヒトリノを発見した小柴教授が、そして昨年「ユートリノ」に質量があることを証明した梶田教授と難病を治す「フクチン」を開発した大村教授が受賞されました。

また、国民の純金融資産が1200兆円程なのに国の借金総額が、今年度末に約1160兆円にも達することを考えますと、財政が大変心配です。貧しくても夢・希望があった良き時代に戻れないかと思うばかりです。

伊井 渡

発行責任者

議長 川口 誠二

議会だより編集委員会

委員長 田中 栄一

副委員長 堤 康幸

委員 松崎 辰義

委員 大坪 久美子

委員 中島 信二

委員 服部 良一

委員 伊井 渡

委員 高橋 信広

委員 橋本 正敏